

平成29年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

山形県立酒田光陵高等学校

<p>学校教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 進取の気性を持ち、知徳体が調和し、心身ともに健康な人間を育成する 2 高い専門性と国際的な視野を持ち、公益の心を持つ創造力豊かな人間を育成する 3 地域の産業や文化・環境を理解し、地域を大切に思う人間を育成する 		<p>育てる生徒像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな心とたくましい体を持ち、社会から信頼される人 2 公益の心と高い志を持ち、自己実現を図る人 3 高い専門性と実践力を身につけた、将来のスペシャリストとなる人 4 自分が育った地域を大切に思い、地域を支えていく人 	<p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな心と健やかな体の育成 2 社会を生き抜く基盤となる確かな力の育成 3 学校・家庭・地域との連携・協働による開かれた学校づくり
<p>目指す学校像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 普通教育と専門教育を併せ持つ、学際的な教育を展開する高校 2 特色ある教育活動を展開し、多様な進路希望を実現できる高校 3 公益活動、自然環境の保護、及び国際化に取り組む高校 4 地域と連携・交流し、地域社会の発展を担うリーダーを育成する高校 5 スポーツ・文化活動の地域拠点校としての役割を担う高校 			

達成度	A・・・達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

自己評価(年間)					学校関係者評価	総括
番号	評価項目	具体的方策と指標・基準等	目標達成状況及び取り組み状況	達成度	次年度に向けた改善策	
1	豊かな心と健やかな体の育成	<ol style="list-style-type: none"> ①笑顔とやさしさ、挑戦する勇気を育む教育の推進 ②端正な装いと元気で明るい挨拶の推進 ③交通安全、情報セキュリティ等に関するモラル教育の充実 ④心身の健康・バランスを育てる部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶については、校内外ともに評価が高く、励行を継続指導したい。また、服装頭髪指導も効果を上げている。 ・運動部、文化部ともに活発な活動ができている。戦績としても全国優勝、国際大会入賞を果たすことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・好評だった部活動体験会の内容等について、改善点を検討する。 ・交通安全、自転車の盗難防止、スマートフォン等の校内使用については、効果的な注意喚起をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の思いを人に伝えることができる生徒が多く育っている。 ・マナーと安全については、古くて新しい問題である。地道な指導を継続することが必要である。
2	社会を生き抜く基盤となる確かな力の育成	<ol style="list-style-type: none"> ①基礎学力の定着に関する、授業改善の研究と実践 ②高度な資格や検定等取得の積極的な推進 ③生徒の主体的な学びに資する、新たな授業方法の研究と実践 ④社会人基礎力を育てるキャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高校生のための学びの基礎力診断」について、次年度からの試行を視野に入れて、利用ツールの選定に入っている。 ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した研究授業を行い、指導法の改善に結びつけることができた。 ・インターンシップの拡大実施と企業説明会の3年次から2年次への前倒し実施ができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業や指導法の改善については一部の教科にとどまることなく不断に取り組む。 ・発表する力や伝える力などのコミュニケーション能力を高める授業を意識し、社会人基礎力の育成に資する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職、進学それぞれに良い結果が出ている。生徒を地域へ出し、社会とつなげようとする姿勢が進路実績に結びついている。 ・基礎学力の大切さを教えることで、問題発見力を育成し学ぶことの楽しさを実感させてほしい。
3	学校・家庭・地域との連携・協働による開かれた学校づくり	<ol style="list-style-type: none"> ①互いに補充し合う生徒支援体制の推進 ②地元を知る学びの推進 ③地域貢献に資する教育活動の推進 ④ICTを活用した情報の発信と共有の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域理解や地域探究と学校設定科目「公益と産業社会」との関係性を再検討する必要がある。 ・教員の負担軽減と教育のICT化のため、G Suite for Education の導入について研修会を持ち一部利用を開始している。 ・酒田光陵地域協働本部としての一般社団法人「SKIES」を設立した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「公益と産業社会」開設の目的と指導内容の再確認をする。併せて、年間指導計画の見直しを図る。 ・「SKIES」の事業内容について検討・展望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元や地元企業を知るためには、企業単体に加えて工業団地等におけるグループともつながることで情報交換がよりスムーズになる。 ・防災活動においては、地域や小、中学校との連携を進めてみてはどうか。 ・e教務やスマホ利用についてはまだまだ工夫の余地がある。
自己評価及び学校関係者評価の改善点等		<ul style="list-style-type: none"> ・2月時点で200回を超える学校HP(ブログ等)の更新で、生徒の学校生活の様子をタイムリーに発信することができた。 ・「学校評価アンケート」の回収率が、生徒および保護者に比べて教職員が低いので今後お提出の声かけ等適宜行っていく。 				